

<地域福祉・高齢者福祉の理念・目標>

Table with demographic data: 人口 (人), 65歳以上人口 (人), 高齢化率 (%), 高齢者のみ世帯数 (世帯), 要介護認定者数(二号保険者含) (人), 若年性認知症推定数 (人)

<気づきシート記入上の注意点>

- * このシートは、認知症の人の生活機能障害にあわせ、地域で支えていくためのサービスについて、以下の点を確認するための
① 現在ある社会資源(介護保険サービス、自治体独自サービス、インフォーマルサービス等)の把握
② 現在ある社会資源を、どのような状態の人が利用されているかの把握
③ H29年度の単純推計に対し、どの社会資源が不足・過剰になると考えられるか
④ 認知症の人の生活機能障害に対し、どのサービスで、どのように支援をしていくかの協議・検討
* H29単純推計の求め方は、現数・現在利用者数に介護保険事業計画に用いる65歳以上人口の伸び率をかけ、算出しましょう
* 「必要数」には、H29単純推計の値を基に、関係者で社会資源の整備に関する今日をした結果を反映した数字を記入しましょう。
* このシートの数値は、わかる範囲で埋めていくようにしましょう。もしわからないところがあれば、空欄でも結構です。
* 空欄の部分に関しては、今後できるだけ数字を把握できるようにしていきましょう。

65歳以上で要介護認定を受けていない方

Table for cognitive impairment degree (CPS) from 0 to 6, including current numbers and H29 estimates.

Main table for service utilization by CPS level, listing services like '一次予防・二次予防利用者' and 'いきいきふれあいサロン'.

要介護認定を受けている方(二号保険者含)

Table for ADL levels (自立, I, IIa, IIb, IIIa, IIIb, IV, M) for dementia patients.

Main table for service utilization by ADL level, listing services like 'いきいきふれあいサロン' and '訪問介護'.

医療の整備状況

Table for dementia diagnosis and hospitalization statistics.

相談窓口

Table for consultation windows including administrative offices and support centers.

Table for medical facilities including clinics, hospitals, and dementia centers.

人材の育成 ~オレンジプラン~

Table for training programs for dementia care, listing courses and target numbers.

<確認のポイント>

- * H29年度の単純推計値は、現在整備されている介護保険サービスをはじめとする社会資源で対応可能な人数でしょうか?
* 現在整備されている社会資源で対応が難しい場合、対応を考えましょう
* 貴自治体の地域福祉の理念・目標を踏まえましょう
* 人口動態を踏まえましょう
* 居宅サービス、通所サービス、施設サービスのそれぞれのコストや職員確保が可能なかを確認しましょう
* 既存の資源のうち、他のサービスに切り替えやサービスの拡充ができるものがないか、検討しましょう
例： 通所介護 → 高齢者サロン、配食サービス
通所介護 → 認知症対応型通所介護
通所介護、訪問介護、短期入所生活介護 → 小規模多機能型居宅介護
* 未利用の方がどのようにして生活されているか、確認しましょう
* 若年性認知症の推定数に対し、何名把握していますか? その人たちは介護保険以外のサービスも利用していますか?
* 自治体独自サービス、インフォーマルサービスの利用者数や生活状況をどの程度把握されていますか?

*若年性認知症の有病率(人)：筑波大学大学院人間総合科学研究科 朝田雅樹教授「若年性認知症の発症と対応の基盤整備に関する研究(厚生労働科学研究費補助金長寿科学研究事業)」(2009年)より

認知症の人の生活機能障害を踏まえ、どういったサービスで支えていくのか、介護保険サービス事業者や医療関係者、社会福祉協議会、認知症地域支援推進員、ボランティア等の関係者で協議・検討すると同時に、どのような認知症の人に対し、どういった支援を組み合わせ、地域での暮らしを支えていくのか、サービスの拡充だけでなく、現存サービスの切り替えなども考慮に入れて、検討しましょう。